

| 実践校に関する事項 | | |
|---|---------------------|--------|
| 学校区分 | 学校名 | 学校長名 |
| 小学校 | 和歌山市立小倉小学校 | 西本 和広 |
| 学校所在地 | | |
| 〒 649 - 6264 tel 073(477)0455 fax 073(477)4452 | | |
| 担当者名 | | 担当教科 |
| 原田 眞栄 | | 5年担任 |
| 〔学校の概要〕 <p>和歌山県最東部に位置し、山や川など自然に恵まれた地域にある学校である。現在、児童数313名が在籍しており、恵まれた自然環境の中、純真に育っている。校区内には神社や寺、道祖神などがそこかしこに祀られており、熊野参詣で有名な王子社跡もある。</p> | | |
| 研究実践に関する事項 | | |
| 対象者児童・生徒 | 学習支援者等（延人数） | 主な活動場所 |
| 学年 5年生 57名 | 名 職員 2名 | 本校・高野山 |
| 実践研究テーマ | | |
| 世界遺産を学び、ふるさと和歌山のよさを知ろう | | |
| 実践教科等名 | 単元名 | |
| 総合的な学習の時間 | 和歌山の世界遺産「高野山新聞」を作ろう | |
| 〔キーワード〕 世界遺産学習 情報活用能力 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度 | | |
| 〔単元目標〕 <p>(1) 世界遺産について理解し、それらを守っている人たちがいることを知る。 (2) 体験活動を通して、世界遺産の素晴らしさを実感することができる。 (3) 高野山について調べてまとめ、「高野山新聞」を作りふるさとを大切にすることを育てる。</p> | | |
| 〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 11時間（「高野山の魅力を見つけよう」5時間） | | |
| 〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 <p>和歌山県世界遺産マスター</p> | | |

| 実践校に関する事項 | | | |
|--|--|---|----------|
| 〔单元指導計画概要〕 | | | |
| | 主な学習活動 | 学習への支援 | 評価方法等 |
| 1 | 高野山について話を聞く 高野山ってどういうところ？ 高野山に行くならどこを見たい？ | 高野山に興味を持つきっかけにする。 | |
| 2 | 高野山について調べる | 高野山について調べ学習をする。 ・パソコンを活用して、インターネットを利用する。 | ワークシート |
| 3 | 現地学習 高野山道石道ウォーク ・和歌山県世界遺産マスターの話を聞く ・世界遺産講座を受ける | ・世界遺産について説明を聞いたり、高野山町石道を歩いたりして、世界遺産についての関心を深める。 | 行動観察・発言 |
| 4 | 高野山新聞を作る | ・見出しを考えさせる。 ・記事の書き方を考えさせる。 ・写真や図を活用させる。 | 発言・作品 |
| 5 | 高野山新聞を読み合う | ・友だちの作品の感想をカードに書く。 | 作品・感想カード |
| 〔单元学習の成果と課題〕 | | | |
| <p>(成果) 高野山を身近に感じることができ、高野山はいいところだと思ったようである。世界遺産である高野山と参詣道が世界にも知られていることを知り、誇りに感じていればと思う。新聞づくりでは、自分が書きたい記事のテーマを考え、それに合った写真を選んだ。見出しやレイアウトにも工夫させたいと考えて取り組んだ。成長して大人になってこの時のことを思い出して誰かに話してほしい。</p> <p>(課題) いろいろな行事があり、忙しい中での世界遺産学習であったが、子どもたちにとって価値ある取り組みだと思い参加させていただいた。十分な時間をかけられなかったことが反省だが、メリハリをつけて活動した。また、記事を書く際、うまく表現できない児童もいたため、語彙数を増やし、効果的な文章の構成を身につけさせることが今後の課題である。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の効果〕 | | | |
| <p>世界遺産に関心を持つようになった。そして、身近に世界遺産があり、誇りに思うとともに大切に継承していかなければならないことに気づいた児童もいる。世界遺産マスターさんたちが親切に案内してくださりと、指導してくださりと、一人ずつに三鈷の松の葉をいただき、とても喜んでた。当日を楽しみにし、興味深く、家から持って来た高野山の地図を持って回っていた児童もいた。六年生の歴史学習への意欲も高まったと思う。後世に残すべき遺産に触れた貴重な機会だった。こういうよさは、今すぐにはわからなくても、経験し、成長していくうちににじみ出てくるものだと思う。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕 | | | |
| <p>現地学習では今後改善すべき点は思いつきません。課題は、事前や事後の学習にあると思います。世界遺産の大切さ、自分たちもこれからは守っていくことを担っているという自覚、郷土のよさを感じる心……。これらを、現地学習でいかに目の当たりにできるか、そして帰ってきてからいかに高められるか。今回は道徳の学習を導入に入れましたが、校外学習後の感想では、そのような深いところまで感じられていたか疑問が残ります。例えば事後に、第三者に高野山をPRする活動などをいれると、子どもたち自身が発信者となり、効果的かなと考えます。ご丁寧な御対応ありがとうございました。</p> | | | |

様式 2

平成30年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

—作品の紹介と児童の感想文から—

○壇上伽藍に行きました。赤や白・緑色があり、きれいでした。その周りには、消火栓がありました。とても工夫されているんだなと思いました。

○奥の院には、上杉謙信や織田家の大きいお墓がありました。また、大きい五輪塔もありました。

○御廟には手をこすると独特の香りがする粉がありました。また、何年も消えないろうそくもありました。

○マスターさんが楽しくわかりやすく説明してくれたのがとてもうれしかったです。



○回すとお経をマスターするといわれる六角経蔵があり、1周15mほどで、少し重たかったです。

○三鈷の松という、四葉のクローバのように身につけると幸せになるといわれ、特に緑色は珍しいとされています。

○べっぴん地蔵の唇や顔に口紅を塗るとべっぴんになるといわれる地蔵です。この地蔵の目などにも塗られていて、少しびっくりしました。

○奥の院には持ち上げられれば善人、上げられなければ悪人といわれる石がありました。上がるか心配したけど上がった時はうれしかったです。

○高野山に行くバスの中でみんなで高野山のことなど、景色を見たりしてキャッキャッワイワイ楽しみました。

○高野山について詳しく知れてよかったです。昔のことを知れてうれしかった。ありがとうございました。

○奥の院にはいろいろな人のお墓がありました。風景もきれいでした。

○高野山の説明ビデオがとても分かりやすく勉強になりました。世界遺産のこともよくわかりました。

—高野山新聞の発表会で—



○新聞がカラフルでした。自分の気持ちや感想を入れて説明してくれたので、わかりやすかったです。

○大事なところを大きな声で言ってくれたり、クイズを出したりしてくれたので、とても楽しく聞くことができました。

○三鉢の松を拾っていたところを実演しながら説明してくれたのがとても面白かったです。高野山に行った時のことを思い出しました。

○ニュースキャスターみたいにすらすら読んでいたのがすごいと思いました。きっとたくさん練習したんだろうな。

○高野山のしかけについて、イメージ図と面白い解説があってとても楽しかったです。

○高野山でマスターさんが言ってくれたポイントをしっかりと記事にまとめることができていたので、とても聞きやすくわかりやすかったです。

○ただ原稿を読むだけでなく、演技をしたり、クイズを出したり、私たちに質問してくれたり、とても楽しかったです。写真や絵をいっぱい使っていて、差し棒もあってとても見やすかったと思います。

○どの順番で記事を読んだらいいか、みんながどの記事に興味があるのかを考えるのがとても楽しかった。

○緊張して間違えたところもあったけれど、最後まで説明できたのでよかったです。

○私が迷っているとき、友達が助けてくれたので、うまく進めることができた。質問されたことにすぐに答えられたのでうれしかった。

○ほかのグループの発表を聞いた後で、自分たちももう少し文字の大きさや色使いを工夫したほうがよかったように思った。